



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月29日

上場会社名 株式会社エス・エム・エス 上場取引所 東
 コード番号 2175 URL <https://www.bm-sms.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高畑 正樹
 問合せ先責任者 (役職名) IR・リサーチ部長 (氏名) 室賀 水織里 TEL 03-6721-2400
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 機関投資家・アナリスト向け

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	20,212	8.2	4,308	19.1	5,432	13.5	3,728	△5.4
2026年3月期第1四半期	18,672	7.1	3,616	20.5	4,785	16.3	3,940	24.6

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 3,947百万円（55.7％） 2026年3月期第1四半期 2,535百万円（△46.0％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	45.42	45.42
2026年3月期第1四半期	47.17	47.17

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	54,352	28,257	51.6
2026年3月期	52,774	26,724	50.2

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 28,046百万円 2026年3月期 26,495百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	29.50	29.50
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	30.50	30.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	71,834	11.0	6,801	0.2	8,731	0.1	6,165	—	75.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	87,561,600株	2026年3月期	87,561,600株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	5,467,072株	2026年3月期	5,481,151株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	82,087,142株	2026年3月期1Q	83,540,249株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述などについてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、提出日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループは、「高齢社会に適した情報インフラを構築することで人々の生活の質を向上し、社会に貢献し続ける」ことをグループミッションに掲げています。「医療」「介護/障害福祉（注）」「ヘルスケア」「シニアライフ」を高齢社会における事業領域とし、価値提供先である従事者・事業者・エンドユーザをつなぐプラットフォームを情報インフラと定義しています。高齢社会を取り巻く人々を、情報を介してサポートする情報インフラの構築を通じて、高齢社会で生じる様々な課題を解決し、生活の質の向上に貢献していきます。

当第1四半期連結累計期間においても、高齢化の進行に伴い当社グループの事業領域における需要は拡大を続ける一方、生産年齢人口の減少を背景とした従事者の不足が引き続き深刻な課題となっており、事業者の業務効率化や人材確保に対するニーズは一層高まっております。

このような事業環境のもと、キャリア事業においては、医療・介護/障害福祉従事者と事業者の最適なマッチングを通じ人手不足と偏在の解消に取り組んでおり、成約が堅調に進みました。介護・障害福祉経営支援事業においては、介護/障害福祉事業者向け経営支援プラットフォーム「カイボケ」「かべなしくラウド」の利用事業者数が増加したほか、有料オプションサービスの利用拡大により顧客単価が上昇しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高20,212百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益4,308百万円（前年同期比19.1%増）、経常利益5,432百万円（前年同期比13.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,728百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

なお、当社グループは当連結会計年度の期首より報告セグメントを「キャリア」、「介護・障害福祉経営支援」及び「海外」の3区分に変更することといたしました。セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

①キャリア

AI活用等によるマッチングプロセスの改善が引き続き寄与し、人材紹介事業が成長しました。

以上の結果、キャリアの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高14,110百万円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益5,012百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

②介護・障害福祉経営支援

介護/障害福祉事業者向け経営支援プラットフォーム「カイボケ」「かべなしくラウド」が順調に成長しました。M&Aマッチング事業の成約時期ずれが一部影響したものの、「カイボケ」「かべなしくラウド」の会員数増加に加え、ファクタリングやタブレット・スマートフォン等の有料オプションサービスの利用拡大が成長に寄与しました。一方、「かべなしくラウド」の営業体制・マーケティング強化等により、利益成長は限定的となりました。

以上の結果、介護・障害福祉経営支援の当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,474百万円（前年同期比9.4%増）、セグメント利益1,026百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

③海外

メディカルプラットフォーム事業においては一部顧客のマーケティング予算縮小等が、グローバルキャリア事業においては中東情勢の悪化が引き続き影響しました。両事業ともに収益構造改善に取り組みながら、企業価値向上委員会において今後の方向性について検討を進めてまいります。

以上の結果、海外の当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,595百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント損失320百万円（前年同期はセグメント損失688百万円）となりました。

（注）当社は、日本が批准している「障害者権利条約」に基づき、「障害」は個人ではなく社会の側にあるとする「社会モデル」の考え方に立脚しております。表記に際しては、受け取り手の心情に配慮し場合によって「障害」「障がい」を使い分ける方針であるものの、社会の側にある障害は排していくべきものとの考えから、本資料内においては基本的に「障害」と表記しています。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、54,352百万円（前連結会計年度末比1,577百万円増）となりました。これは主に、売掛金が減少した一方、業容の拡大により現金及び預金が増加したこと、「カイボケ」におけるファクタリングサービスの利用事業者増により未収入金が増加したことによるものです。

負債は、26,094百万円（前連結会計年度末比43百万円増）となりました。これは主に、短期借入金が減少した一方、契約負債や未払費用等が増加したことによるものです。

純資産は、28,257百万円（前連結会計年度末比1,533百万円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年4月28日決算短信で公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,728	15,346
売掛金	9,562	8,448
仕掛品	53	119
貯蔵品	19	25
未収入金	14,160	15,465
前払費用	1,219	1,604
その他	37	89
貸倒引当金	△369	△370
流動資産合計	38,411	40,728
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,348	1,420
減価償却累計額	△707	△744
建物（純額）	641	676
工具、器具及び備品	1,175	1,220
減価償却累計額	△995	△1,014
工具、器具及び備品（純額）	179	205
使用権資産	481	490
減価償却累計額	△215	△252
使用権資産（純額）	265	238
有形固定資産合計	1,087	1,120
無形固定資産		
のれん	64	53
ソフトウェア	7,146	7,306
その他	0	0
無形固定資産合計	7,210	7,360
投資その他の資産		
投資有価証券	2,909	1,951
繰延税金資産	1,658	1,709
敷金及び保証金	1,497	1,481
投資その他の資産合計	6,065	5,142
固定資産合計	14,363	13,623
資産合計	52,774	54,352

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	405	301
短期借入金	4,600	3,040
1年内返済予定の長期借入金	1,300	1,300
未払金	11,614	11,912
未払費用	803	1,246
未払法人税等	1,556	1,933
未払消費税等	861	1,219
契約負債	1,571	2,196
預り金	172	298
賞与引当金	1,084	550
リース債務	117	130
その他	496	536
流動負債合計	24,584	24,667
固定負債		
長期借入金	1,050	1,050
退職給付に係る負債	247	246
リース債務	165	127
その他	2	2
固定負債合計	1,465	1,426
負債合計	26,050	26,094
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,551	2,551
資本剰余金	261	253
利益剰余金	26,691	27,998
自己株式	△9,711	△9,678
株主資本合計	19,792	21,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165	165
為替換算調整勘定	6,536	6,755
その他の包括利益累計額合計	6,702	6,921
新株予約権	229	211
純資産合計	26,724	28,257
負債純資産合計	52,774	54,352

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	18,672	20,212
売上原価	1,736	1,809
売上総利益	16,936	18,403
販売費及び一般管理費	※ 13,319	※ 14,094
営業利益	3,616	4,308
営業外収益		
持分法による投資利益	1,231	1,212
その他	11	12
営業外収益合計	1,243	1,225
営業外費用		
為替差損	34	58
支払利息	32	41
その他	8	1
営業外費用合計	75	101
経常利益	4,785	5,432
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
為替換算調整勘定取崩損	—	24
固定資産除売却損	—	12
特別損失合計	—	36
税金等調整前四半期純利益	4,785	5,395
法人税等	844	1,667
四半期純利益	3,940	3,728
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,940	3,728

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
四半期純利益	3,940	3,728
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,390	213
持分法適用会社に対する持分相当額	△15	5
その他の包括利益合計	△1,405	219
四半期包括利益	2,535	3,947
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,535	3,947
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
給料手当	4,658百万円	4,966百万円
広告宣伝費	3,620	3,789
業務委託費	905	1,155
のれん償却費	242	10
減価償却費	829	812
法定福利費	796	869
地代家賃	576	580
賞与引当金繰入額	438	473
退職給付費用	6	△10
貸倒引当金繰入額	19	12

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	829百万円	871百万円
のれん償却額	242	10

(セグメント情報等の注記)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	キャリア	介護・ 障害福祉 経営支援	海外	計			
売上高							
外部顧客への売上高	13,070	3,175	1,535	17,782	890	－	18,672
セグメント間の内部売 上高又は振替高	2	0	－	2	25	△27	－
計	13,073	3,175	1,535	17,784	915	△27	18,672
セグメント利益又は 損失 (△)	4,550	1,001	△688	4,863	△111	△1,135	3,616
減価償却費	262	321	180	764	42	72	879
のれんの償却費	10	－	231	242	－	－	242

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、シニアライフ事業等を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額△1,135百万円は、主に当社グループの管理部門にかかる費用であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(注4) セグメント資産の金額は、当社では報告セグメントに資産を配分していないため、開示しておりません。

当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	キャリア	介護・ 障害福祉 経営支援	海外	計			
売上高							
外部顧客への売上高	14,110	3,474	1,595	19,180	1,031	－	20,212
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	0	－	2	23	△25	－
計	14,112	3,474	1,595	19,183	1,054	△25	20,212
セグメント利益又は 損失(△)	5,012	1,026	△320	5,719	△116	△1,294	4,308
減価償却費	287	374	112	774	41	55	871
のれんの償却費	10	－	－	10	－	－	10

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、シニアライフ事業等を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額△1,294百万円は、主に当社グループの管理部門にかかる費用であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(注4) セグメント資産の金額は、当社では報告セグメントに資産を配分していないため、開示しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

当社グループの報告セグメントは、従来単一セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「キャリア」、「介護・障害福祉経営支援」及び「海外」の3区分に変更することといたしました。これは、2026年1月1日に新経営体制に移行し、2026年4月28日より経営管理区分を変更したことによるものです。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。